



伝統的工芸品「大館曲げわっぱ」



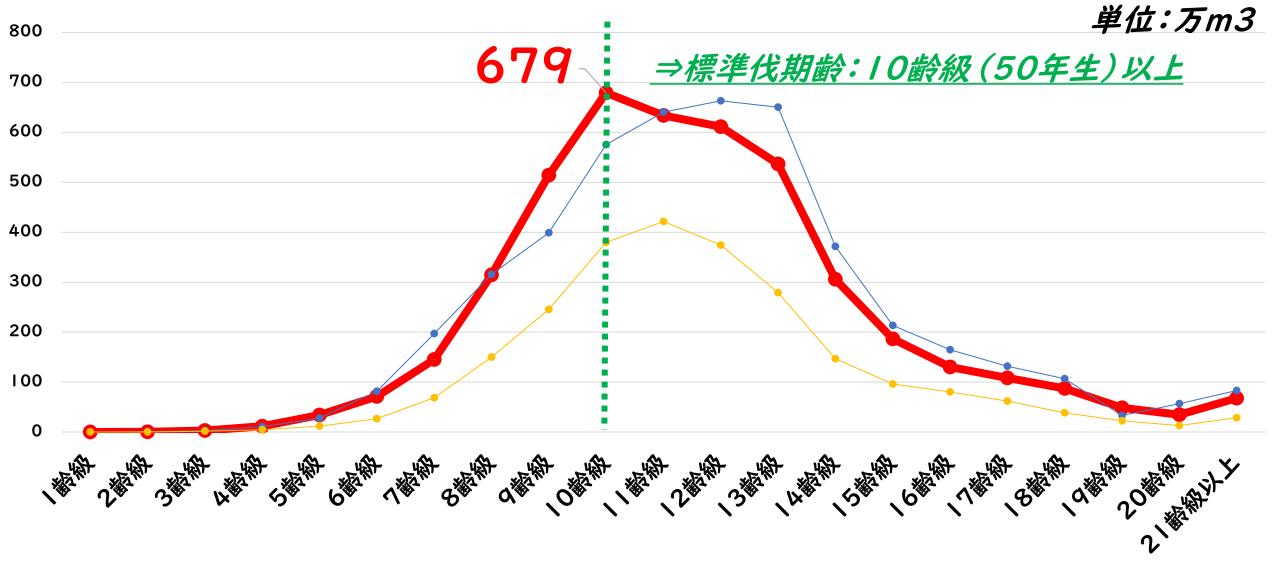
伝統的工芸品「秋田杉桶樽」



市長 福原 淳嗣



秋田県内3流域の齢級別蓄積量(モデル事業開始時)



→米代川流域 → 雄物川流域 → 子吉川流域

林業成長産業化地域創出モデル事業

モデル事業の対象地域 「林業成長産業化地域」のコンセプト

- ①広がりのある一定の地域における
- ②川上から川下までの特定の関係者の連携による取組であって
- ③利用期を迎えている森林からの木材の 伐採、利用、再造林により
- 4資源の循環が確保されるとともに
- ⑤利益が地元に還元されること

によって地域の活性化に寄与することを目指す地域

▶►<u>モデル的な地域を優先的に</u> 支援することで、優良事例を創出し、 横展開につなげる



川上から川下までの連携による「循環の輪」



大館北秋田地域 林業成長産業化協議会

<基本情報>

設立年月日 平成29年10月11日

対象地域 大館市

事業実績

事務局 大館市(産業部林政課)

事業内容 林業成長産業化の実現に向けた事業の実施

・林業成長産業化地域創出モデル事業 (林野庁/

H29~R3)

・「地域内エコシステム」モデル構築事業 (林野庁/ R3)

<平成29年度~令和3年度>

- ·森林組合(I)
- ·素材生産事業者(12)
- ·苗木生産者(2)
- ·製材·加工事業者(8)
- ・木質バイオマス事業者(3)
- ·木材流通事業者(I)
- ·学識経験者(I)
- ·行政機関(7)





<令和4年度~>

R4.5月末現在

- ·森林組合(I)
- ·素材生産事業者(13)
- ·苗木生産者(7)
- ・製材・加工事業者(7)
- ・木質バイオマス事業者(4)
- ·木材流通事業者(2)
- ·学識経験者(I)
- ·行政機関(7)
- ·教育機関(I)
- ·住宅事業者(14)
- ·建築設計関係者(12)
- ・家具・工芸事業者(5)
- ・IT・ICT関連事業者(2)

35会員

大館市有林の活用による川上~川下連携

「森林経営及び木材販売に係る協定書」 締結(H30)

→協議会と大館市による協定締結:対象森林面積 I I 6.76ha

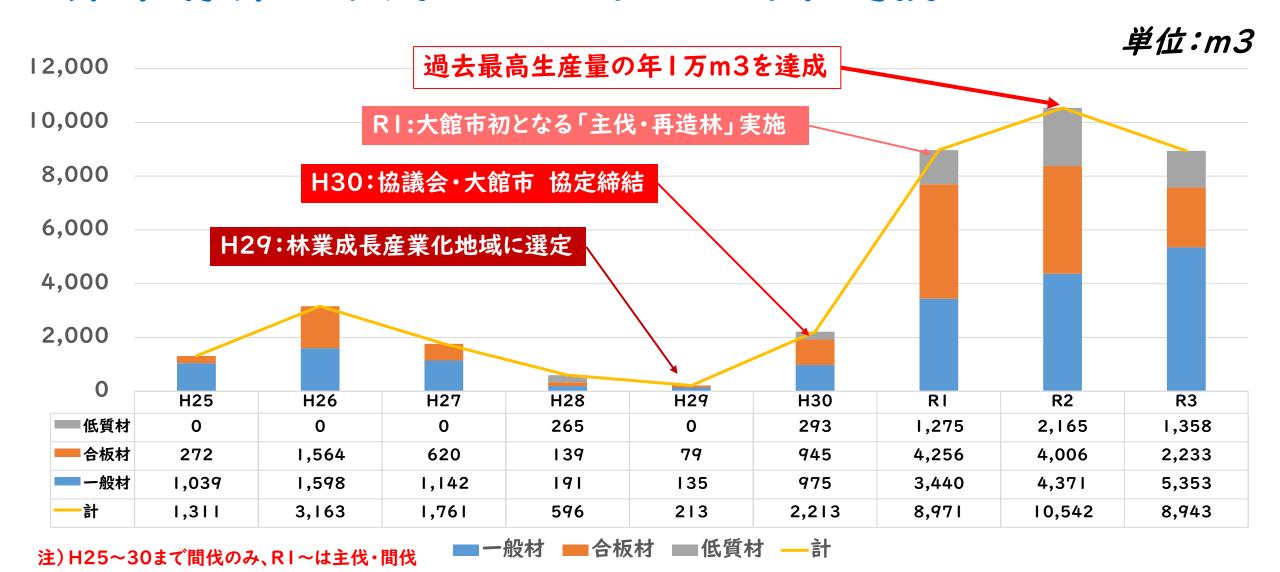
協議会へ大館市有林の一部を施業フィールドとして提供

川上から川下の事業者の 連携による地元産材の 供給体制を構築



大館市有林での施業状況(一貫作業システム)

大館市有林の活用による川上~川下連携



大館市有林 素材生産量・生産割合の推移

渋谷区子育てネウボラ(東京都渋谷区)



ハチ公がつないでくれた"ご縁"による 渋谷区との交流・連携

渋谷区·大館市防災協定締結 平成 I 3年 I 月 2 4 日



渋谷区木材利用推進方針(R2.4~)

- <使用する木材>
- ア 防災協定締結自治体の木材
- イ 東日本大震災被災自治体の木材
- ウ 多摩産材
- 工 森林認証材

森林所有者

流

通

ル



素材生産者

何伊東農園 (株石川組



木材加工者

(株)藤島木材工業(製材) (株)藤島林産(フローリング) (秋田プライウッド㈱※合板)



木材利用者

渋谷区

<供給実績>

- ・3Fスギフローリング約227m2
- ・7F床暖房用複合フローリング約56m2

キュイジーヌ フランセーズ ラ・シャンス(東京都江東区)



林業成長産業化協議会の会員(物林㈱)が 受託する指定管理案件での施主/建築物件

- ・当初、プレカット工場より4mの下地材注文
- ・設計図を見直し、予定量の9割が3.65m で対応可能と判明
- ·県内の製材向け造材規格が主に3.65m

歩留まり向上・経費削減に貢献







素材生産者

大館北秋田森林組合 (有)髙橋造林



㈱沓澤製材所(下地材)



木材利用者

物林㈱

<供給実績> スギ下地材 I 5m3

清水建設株式会社 東北支店 新社屋(宮城県仙台市)





秋田県産材指定注文への対応





大館市



素材生産者

(有)伊東農園 ㈱石川組



木材加工者

㈱キーテック (LVL)



木材利用者

清水建設㈱ 東北支店

<供給実績> スギLVL (原木ベース35m3)

スギLVL内装材 (株)キーテックHPより)

山元への利益還元に向けて

■大館市有林の原木販売単価UP(円/m3)

スギ原木販売	RI	R2	R3
販売単価	8,588	8,164	9,859

■再造林面積(ha)·苗木出荷本数(千本)UP

指標	H28	H29	H30	RI	R2	R3
再造林面積	31	81	127	127	117	93
苗木出荷本数	500	850	892	924	1,032	1,264

■木質バイオマス出荷量UP(m3)

指標	H28	H29	H30	RI	R2	R3
木質バイオマス出荷量	40,650	43,900	45,330	54,097	75,209	74,446

川上から川下までに至る総合的な取り組みにより山元への利益還元を実現

2050

CARBON

NEUTRAL

~脱炭素社会の実現~

持続可能な開発目標 2015~2030

SUSTAINABLE GALS







8 88806

14 90000



15 808006



⟨=⟩







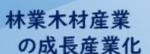












17のゴール・169のターゲット ~誰一人取り残さない~ ゼロ・カーボン ゼロ・エミッション

2017 2050 2021 2030

> あらゆる分野のステークホルダーとの"共創"により 2050カーボンニュートラルを実現!!

新たな構想の策定



秋田スギのふるさと、ふたたび

2017(平成29)年度~2021(令和3)年度 林業成長產業化地域構想



森林の適正な管理と、林業・木材産業の"持続性"と"成長"の両立へ

2022(令和4)年度~2031(令和13)年度

グリーン成長構想

美しい森を、 未来の子どもたちへ。

ご清聴ありがとうございました

